

1

AutoExe

クラッチライン

取付け及び取り扱いマニュアル

部品番号	MGS650
登録番号	
車名 車種	マツダ アテンザ
型式(グレード)	DBA-GG3P (2300cc turbo マツダスピード)
備考	純正ゴムホース部分交換
取付け上の注意	※取付け方法、レイアウトはノーマルと一部異なります。当マニュアル内にある取付け説明書に従って、正しく装着して下さい。

※ 当製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。
 ※ 取付け作業をはじめる前に必ず当マニュアルを最後までお読みください。
 ※ 当マニュアルは製品装着後も大切に保管して下さい。又、当製品を譲渡する際には製品と共に製品認定書・マニュアルも一緒に譲渡して下さい。
 ※ 当製品はノーマルの車両を基準にデータ取りされております。極端に太いタイヤ、ホイールを装着した車両や、車高及びサスペンションを変更した車両に取り付けますとトラブルの原因となる可能性がありますのでご注意ください。

2

オートエクゼクラッチラインは、各車種(型式別)に専用に設計されていますので適合外の車種(型式)・クラッチ形式には使用できません。十分に注意して下さい。

- ・オートエクゼクラッチラインの組み付けは、認定工場等の資格のある専門店で行って下さい。
- ・組み付け不良、エア抜き不良によるクレーム及び故障・事故による損害について、当社は一切の責任を負いません。

危険 この表示は、死亡または重傷を負うことに至る可能性がある危険状態を示しています。十分に注意して下さい。
警告 この表示は、軽傷または中等度の傷害を負うことに至る危険性、及び物的損害の危険性を示しています。十分に注意して下さい。

取付け前の確認
警告 オートエクゼクラッチラインは、各車種(型式別)及びクラッチ作動形式別専用にて設定されており、必ず確認して下さい。

警告 オートエクゼクラッチラインは、各車種(型式別)及びクラッチ作動形式別専用にて設定されており、適正修理以外への取り付けや改造、加工は絶対に行わないで下さい。
注意 オートエクゼクラッチラインは、ノーマルの車両を基準にデータ取りされております。クラッチ作動形式を変更されている場合は、一部取り付け出来ない場合がございますので、必ず事前に確認し、十分にご注意下さい。

安全に作業を行うための確認
警告 クラッチラインの取り外しは、「自動車メーカー発行の整備書」に従って、認定工場などに依頼して確実に作業を行って下さい。

警告 走行後は、エンジンルーム、ミッション等が、高温になっていますので、十分に冷えてから作業を行って下さい。また、防具手袋等を着用して下さい。

危険 車両をジャッキアップする場合は、必ずメーカーの指定位置にてジャッキアップし、リジッドトラックを使用して下さい。ジャッキアップ時はエンジンを停止し、安全が確保された平坦な場所で行って下さい。

危険 車両をリフトアップする時は、必ずメーカーの指定位置にてリフトアップし、必ず安全装置を掛けて下さい。

注意 本製品を確実に取り付けするために、取り外す全ての部品の状態や位置を確認し、取り付け状態を覚えておいて下さい。

注意 純正クラッチライン配管を取り外す前に、取り付け部周辺のゴミや油を取り除いて下さい。

注意 本製品は、一部純正クラッチライン配管とは長さ、形状、取り付け方法、レイアウトが異なる車種がございます。必ず取り付け説明書に従って正しく装着して下さい。

警告 各部のボルト・ナットは「自動車メーカー発行の整備書」に記載されている指定工具、指定トルクで取り付けして下さい。

警告 フレアナットをゆるめる時は、必ずメーカーの指定する専用工具を使用して下さい。

警告 フレアナット、バンジョウボルト(ユニオンボルト)の締め付けは指定トルクに正しい締め付け、必ずトルクを確認して下さい。

4

MGS650

(オートエクゼクラッチライン構成部品) 破損・欠品等が無いが確認して下さい。

① クラッチラインASSY × 1



5

取付け説明書 MGS650

取付けの際、周辺機器に干渉しないよう注意してください。

※取付け方法は純正と同様です。

[1] 純正クラッチホースの取り外し

・整備要領書に従い、純正クラッチホースを車両から取り外します。その際、フルードがボディなどに付着しない様にフレアナットにメクラ蓋をして下さい。

※取り外したウェイブクリップは再度使用しますので、洗浄した上で大切に保管して下さい。

[2] オペレーティングシリンダー側アダプターの取り付け

・下図を参考にアダプターをクラッチラインホルダーにセットします。

※アダプターはホルダーと同じ5角形になっています。確実にセットされていないとウェイブクリップでの固定が出来ませんので注意して下さい。

・フレアナットを仮締めし、純正ウェイブクリップにて固定します。

・スパナ等でアダプターを固定し、フレアナットを1.8~2.3kgf・mのトルクにて締め付けます。

※フレアナットの締め付けは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用して下さい。

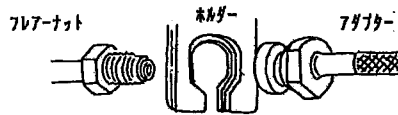
[3] マスターシリンダー側アダプターの取り付け

・取付け方法はオペレーティングシリンダー側と同様ですが、アダプターをホルダーにセットする際、ホースのねじれに注意して下さい。

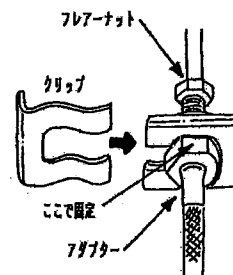
[4] エア抜き作業

・取付け作業が終了したら、エア抜き作業を行って下さい。

・再度、フルード漏れや作動不具合が無いが確認を行って下さい。



クラッチラインホルダー側は、アダプターと同じ形状となっており、装着の際は必ず合わせて下さい。



注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにしみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。

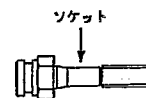
3

安全に作業を行うための確認

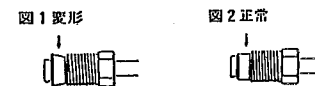
警告 鋼ワッシャー(一部車種付属)は必ず新品の物を使用し、再使用はしないで下さい。

警告 バンジョウボルト(ユニオンボルト)・ウェイブクリップ(ロックプレート)を再使用する場合は、組み付ける前に必ず清掃、洗浄を行い、外傷等の異常がある場合には新品と交換して下さい。

警告 オートエクゼクラッチラインを取り付ける時に、フィッティング部のソケット部分を緩めたり、回したりしないで下さい。フルード漏れの原因となります。



警告 フレアナット先端部分が図1の様に変形し、フィッティングに締め付けられない場合は、必ず図2の様に正常な形状に修正して締め付けて下さい。無理に締め付けますとフレアナット・フィッティング共にネジ部分を破損する場合があります。



取付け後の確認

警告 取り付け後、各部品が正しく取り付けられているか確認してください。また、無理なねじれが無いが確認して下さい。

エア抜き作業に関する確認

警告 エア抜き作業の手順は各メーカー、車種によって異なります。「自動車メーカー発行の整備書」に従って正しく行って下さい。

注意 抜き取ったブレーキフルードは再使用しないで下さい。

警告 ブレーキフルードはボディ等の塗装面に付着させない事、万一付着した場合は素早く拭き取り、水洗いして下さい。

注意 エア抜き作業終了後ブレーキパワーカーナー等を使用し、クラッチマスターシリンダーやクラッチオペレーティングシリンダー廻りに付着したフルードを洗浄して下さい。

警告 エア抜き作業を行った後に、クラッチが正確に作動することを確認して下さい。

注意 純正クラッチ配管と比較して踏みしろが異なる場合がございますので、車両によっては調整が必要な場合がありますので確認して下さい。

6

装着後の取扱いに関する確認

日常点検について 法律で定められている日常点検を随時行って下さい。
 ・クラッチペダルの踏みしろ
 ・クラッチのきれ
 ・クラッチリザーバタンクの液量

メンテナンス フルードの液量、汚れ、漏れ等を定期的に点検して下さい。フルード交換推奨時期は2年です。(DOT5を除く)凍結防止剤を散布する場所では腐食が著しい場合がありますので走行後は必ず洗浄して下さい。

走行中のトラブルについて クラッチフィーリングが極端に変化した場合は、クラッチ本体、補機類の故障と考えられますので、直ちに走行をやめ安全な場所に停止し、販売店や整備工場等に相談して頂き、走行が危険な状態であると判断された時は、異常箇所を新品と交換及び整備して下さい。

お願い

・オートエクゼクラッチラインの交換は、認定整備工場等の資格のある場所で行って下さい。

・オートエクゼクラッチラインは、用途に合わせた消耗品です。日常点検を行い、フルード漏れや取り付け部の緩み及びワッシャーの劣化、損傷の症状が発生した場合は、そのまま走行せずに新品と交換して下さい。

・一般通常の条件において使用された場合の、経年変化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので予めご了承下さい。また、レース、ラリー等の競技に使用した場合、取り付け上の不備、日常点検を怠り発生した破損事故等については当社は一切の責任を負いません。

不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

AutoExe

販売元 株式会社 オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1

TEL 03 (3531) 8151

FAX 03 (3531) 8152

URL <http://www.autoexe.co.jp>